

◆推定損傷主原因

施工不良

◆考えられる他の原因

凍害

◆地域

秋田県 田園・郊外 寒冷

◆部位

PC 主桁

◆供用年数

37年 (写真撮影時)

◆判定理由ほか

主桁下フランジの鉄筋に沿ってひび割れが発生しエフロッセンスが発生している。ひび割れの入り方からPC鋼材が腐食している可能性があると思われる。材齢が37年経過していることから中性化の可能性と、凍結抑制剤が散布され、下フランジが濡れていることから、上面か



らの塩分混じりの漏水による塩害も考えられるが、原因は施工時の型枠のたわみや沈下により生じたひび割れからの劣化の進展と考えられる。エフロッセンスの周辺には微細なひび割れが発生しており、凍害の影響も受けている。高欄は凍害でぼろぼろになっていたので、コンクリート自体の耐凍害性は低いものと思われる。